

市議会かさおか

No.162
2019.11.1

議会だよりは市民とのかけはしです

- P2 9月定例会を開催しました
- P4 意見の分かれた議案等審議状況
- P5 平成30年度決算認定要望事項
- P6 議会報告会を開催しました
- P7 ここが聞きたい！一問一答



9月定例会を開催しました

会期
9月2日～
9月26日



定例会の内容から
市民の皆さんに
ぜひお伝えしたい
ものを掲載します

● できごと ●

議案審議

2～3P

一般質問

8～15P

次回は
12月
定例会

● 主な内容 ●

- 議案 …… 17件
- 報告 …… 6件
- 請願 …… 0件
- 発議 …… 0件



● ここに注目 ●

- 笠岡市立認定こども園設置条例を可決しました
- ごみ袋有料化を否決しました



笠岡市立認定こども園設置条例を可決しました

議案名

笠岡市立認定こども園設置条例の制定について

Q

どういう議案なの？

A

令和2年4月、笠岡市初の公立認定こども園「笠岡市立青空認定こども園」の設置に伴い、条例を制定するものです。

本認定こども園は、保護者や地域の多様化するニーズに応えるため、さらには地域の子育ての拠点として設けられるもので、小学校就学前の教育・保育を一体として捉え、幼稚園と保育所のそれぞれの良いところを活かしながら、その両方の役割を果すことができる幼保連携型のこども園であります。

審査の中では、委員から

「本園のカリキュラムはどうなっているのか。」や、

「副園長や事務職員は置く予定があるのか。園児の定員はどのようにになっているのか。」などといった運営に関する質疑があり、執行部からは、

「本園のカリキュラムは、保育所と幼稚園の職員が、園児の年齢ごとに分かれて検討中である。職員の配置については、教頭を配置予定である。園児の定員数は90名である。」との回答がありました。

委員会での採決の結果は、全会一致で「原案のとおり可決すべきもの」となり、本会議の採決でも「可決」となりました。





ごみ袋有料化案を否決しました

議案名

笠岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について

家庭ごみ収集の完全有料化に係る議案を否決しました。



ごみ袋を1枚目から有料化すると市民の負担はどうなるの？



ごみ袋の有料化の条例を改正しない場合と、改正した場合の市民の負担の違いを平成30年度のごみ袋を例に考えてみましょう。

(例) 無料配布枚数 1,753,710枚 追加購入枚数 194,220枚
1年間で1,947,930枚が使われています。

☆条例を改正しない場合の市民の負担（追加分のみ有料）

$194,220枚 \times 70円 = 13,595,400円$ です。

☆条例を改正した場合の市民の負担（1枚目から有料）

$(1,753,710枚 + 194,220枚) \times 30円 = 58,437,900円$ です。

ごみ袋を1枚目から有料化すると「44,842,500円」の市民の負担増となります。



広報かさおか10月号で可燃ごみの目標値を達成できない理由として、「2人世帯の場合、現在の制度では可燃ごみの指定ごみ袋が年間70枚まで無料配布されるため、70枚までは気軽にごみを出してしまって「70枚の壁」があるから」と書いていたけど「70枚の壁」は本当にあるの？



先ほどの質問でもお分かりのとおり、ごみ袋を購入される割合は、ごみ袋全体の約1割です。年々家庭から出されるごみの量は減っていることからも、大勢の市民は70枚を大切に使われています。「70枚の壁」は、根も葉もない言葉です。



どうして否決したの？



この議案は、より詳細な審査をするために環境福祉委員会へ付託されました。委員会の審査では、ごみ袋有料化に賛成2、反対4で「否決すべきもの」となりました。審査のあと本会議で、委員長報告が行われ、討論の後、採決をした結果、ごみ袋有料化に賛成5、反対15で、否決されました。賛成意見、反対意見の主な理由を紹介します。

賛成意見	反対意見
<ul style="list-style-type: none"> 現在のごみ袋の配布方法は、住民票の世帯を基に配布している。世帯分離の多い現在では、ごみ袋が余っている世帯がある。有料化により不公平な配付が改善できる。 減量化により配達委託料と印刷経費と合わせると1千万円削減できる。また、里庄清掃工場処理負担金、最終処分場負担金などが1千万円の削減ができる。それらの削減によって生じた財源を他の施策に使える。 ごみ袋が足りない世帯は主に若い世帯であり、30リットルのごみ袋1枚70円で購入しているが、有料化により1枚30円で購入できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 市は「ごみ袋の単純従量制を導入すれば、10%の減量が可能である。更なる減量化の市民の意識づけをするためのキッカケとして、ごみ袋の完全有料化を提案している。」と説明したが、市民に更なる減量化を求めるための有料化による意識づけではなく、もっと市民のやる気が出る啓発、市民と行政が協働して取り組む体制など、まだまだ取り組む余地はある。 現在の制度は、県内の他の自治体にはない制度であり、定住化促進の観点からも大いに誇るべき制度である。 消費税が10月から引き上げられる。時期的に市民に負担を求めるることは適切でない。

意見の分かれた 議案等審議状況



全会一致で
可決されたものは
笠岡市議会HPへ
掲載しています

●議案等一覧●

○笠岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について ··· 否決

※付託された委員会で否決すべきとの委員長報告であったので、否決に対する採決を行いました。

○笠岡市建築確認事務等手数料条例の一部を改正する条例について ··· 可決

○平成30年度笠岡市一般会計歳入歳出決算ほか9件の決算認定について ··· 認定



賛成・不賛成の分かれた議案は
起立採決で賛否を問います。

賛成○ 不賛成●

会派名	徳清会				新政みらい				笠栄会				讃志会				立真会				日本共産党	改革21	公明党	
議員名	栗尾順三	森岡聰子	馬越裕正	仁科文秀	天野喜一郎	大月隆司	田口忠義	大本益之	山本俊明	奥野泰久	妹尾博之	三谷渡	東川三郎	大山盛久	坂本公明	原田てつよ	樋之津倫子	井木守	藤井義明	藏本隆文	斎藤一信	大本邦光	賛成・不賛成	
議案名																								
笠岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	議長	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	欠席	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	15:5
笠岡市建築確認事務等手数料条例の一部を改正する条例について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	18:2
平成30年度笠岡市一般会計歳入歳出決算ほか9件の決算認定について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	18:2

※議長は地方自治法第116条第2項の規定により、採決に加わることができません。

要望しています ～笠岡市の未来のために～

平成30年度
決算認定
要望事項



予算・決算において
市に対し、議会から
要望を付しています

9月定例会では、笠岡市の平成30年度一般会計等の決算の審査・認定を行いました。一般会計の決算認定で一部反対がありましたが、8つの要望を付けて認定することとなりました。要望を市がどう取り扱っているのかは、進捗状況として定例会ごとに市から報告をしてもらいチェックしています。



防災力のさらなる強化を

機能する自主防災組織を目指し、女性リーダーや防災士が地域で活躍できる組織作り、高齢化している組織への運営支援を行うこと。

また、平成30年7月の豪雨災害への検証結果について公表し、今後の甚大な災害に対処できる防災計画を作成すること。



地域おこし協力隊の活動支援を

地域おこし協力隊員の活動の内容を広く市民に周知し、3年間の活動を市民全体で応援できるように、活動報告をする場を積極的につくること。

また、3年間の活動後も発展的な成果を見込めるような活動に対しては、さらにその支援が継続できるような助成制度を考えること。



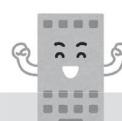
小中一貫教育における支援を

小中一貫教育を推進する中で、教員の支援とともに児童生徒の学力支援のため、地域内に限らず、退職された教職員の再任用を積極的に行うことなど、広く人材を求めて、学校への支援の確保を行うこと。



生ごみ処理のさらなる促進を

生ごみ処理容器の設置に必要な経費の1/2を補助する事業について、さらなる普及促進により、ごみの減量化に対する市民の意識向上を図るために、補助金を増額すること。



持続的な経営を

下水道事業について、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上により、将来の安定した経営に努めること。



市民にとって安全な道路管理を

高齢化や交通量の増加に伴い、道路脇の草刈り等について、困難な状況になっている。路肩をコンクリート舗装にするなど、対策を年次的に行うこと。



適正な補助金の交付を

人権・同和問題の早期解決を目指す運動団体に対する補助金について、廃止する方向で各団体との協議を進めていることであるが、廃止までの期限をしっかりと定め、公表すること。



老朽化した建物の適正な管理を

老朽化が著しい建物や設備について、計画的に撤去・解体を行っていくとともに、土地の有効活用を図り、周辺地域の環境改善に努めること。

議会報告会を開催しました

令和元年度
実施結果報告



のべ77名の
皆さんに
お越しいただきました

7月22日から8月2日まで8会場で「どうなる？笠岡市の幼保再編」と題して報告を行いました。今回ははじめてワークショップ形式で行い、参加された皆様から、テーマに対するメリット、デメリット、解決策等、多くの意見をいただきました。

実施結果概要

1 参加者数

大井公民館	・・・	13名	陶山公民館	・・・	9名
新山公民館	・・・	1名	金浦公民館	・・・	9名
笠岡市民会館	・・・	13名	吉田文化会館	・・・	7名
今井公民館	・・・	13名	神島公民館	・・・	12名

議会報告会の流れ



会場・日時・テーマを設定

班の編成・資料作成

議会報告会実施

意見・要望を取りまとめ

政策提言 (議会での質問 ・要望書の提出)

2 議会報告会に対する主な意見



- ・テーマである幼保再編の対象となる若い保護者さんが参加可能な日時を設定すべき。
- ・開催する場所によってかなり温度差を感じた。
- ・報告会への参加の知らせをもっとわかりやすくしてほしい。
- ・報告会開催のPR方法等を再検討すべき。
- ・デメリットについて重点的に話し合いたい。また、当事者の立場に立って議論してほしい。
- ・市民の声が市政にしっかり反映されるようお願いしたい。
- ・それぞれ違う立場、視点からの意見が出て参考になった。
- ・普段、議員の方々と話す機会がなかなかないので、とても良い時間だった。

3 報告書については、HPへ掲載し、公民館とまちづくり協議会へ配布します。

ありがとうございました

議会報告会に多数のご参加をいただきまして、本当にありがとうございました。皆さまからいただいた貴重なご意見は、議会改革や市政への提言の参考にするなど今後の議会活動に生かしていきます。次回も多くの方のご参加お待ちしております。



ここが聞きたい！ 一問一答

代表質問
5会派
個人質問
12人



9月定例会
で行われた
一般質問の様子を
お伝えします

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究、市民の皆さまの声や自身の考え方をもとに、市長や教育長などに方針や課題、成果を問うものです。

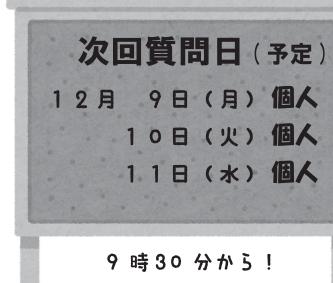
● 質問ルール ●

代表質問 質問時間	個人質問 質問時間	質問回数	次回は 12月 定例会
20分+ 会派人数 ×5分	1人 30分以内	回数制限 無し	

おねがい

ここでは、紙面の都合上要約して掲載しています。
質問の様子はHPでも公開していますが、
ぜひ傍聴にお越しください。

※HPには定例会から約1ヶ月後に公開します。



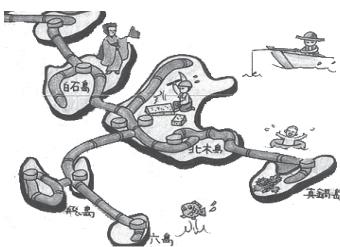
9時30分から！



議員 水道事業は、上水を安全かつ安定に供給する義務がある。昨年度は数度の漏水事故が発生し、島しょ部住民に多大な被害を及ぼ

度重なる海底送水管の漏水対策を問う

市長 北木島以外の有人六島と行政サービスに差ができるところから、設置についてはやむなく見直すことにとなつた。現在、「海上タクシーアクション」を活用し、救急隊3名が乗船出動、「医師や看護師を島へ常駐」、「防災ヘリコプターの夜間飛行」、さらには「救急艇整備」を継続して検討しているところである。



上下水道部長 実施設計に
速やかに取りかか
り、令和3年度までに
は更新を予定してい
る。

議員 いつから更新に取りかかるのかたずねる。

市長 北木島から小飛島（大飛島と六島含む）の送水管は40年前の布設以降、13回の漏水事故が発生。うち7回がここ3年間に集中している。送水管の更新には3年間を要する。実施設計に1年、製作に1年、布設替え工事に1年で、工事費は概算6億円から7億円が見込まれるが、早期に実施したい。

議員 市長公約のひとつである「笠岡消防署南署を北木島に設置、夜間救急への迅速な対応」の成果についてたずねる。

島しょ部への消防署設置

新政みらい 質問者

あまの きいちろう
天野喜一郎議員

所属議員

おおつきたかし
大月隆司議員

たぐちただよし
田口忠義議員

おおもとますゆき
大本益之議員



※代表質問は3・9月定例会で行われます



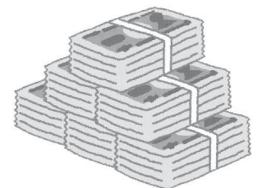
笠栄会

質問者

せのおひろゆき
妹尾博之議員

所属議員

おくのやすひさ
奥野泰久議員
やまもととしあき
山本俊明議員



財政運営における市長の基本姿勢を問う

議員 企業誘致による歳入の自主財源の増加を示してほしい。

市長 増収額は、平成28年度1,300万円、平成29年度1,500万円、平成30年度は2,800万円を見込んでいます。

議員 自主財源が増えた主な要因は何か。

総務部長 主要因は、ふるさと納税による寄附、次に土地売払収入である。これらの臨時の収入で経常経費を賄うことは、何年も続かないと危機感を持つている。

議員 企業誘致に伴う企業立地奨励金の28年度からの支出額をたずねる。

市長 支出額は、平成28年度1,438万円、平成29年度2,149万円、平成30年度3,887万円、令和元年度9,523万円となっている。

議員 市長 支出額は、平成28年度1,438万円、平成29年度2,149万円、平成30年度3,887万円、令和元年度9,523万円となっている。

議員 奨励金等の支出増が財政負担となっているが、誘致に伴う增收効果が現れるのはいつか。

総務部長 企業立地奨励金等は、今後財政を圧迫していく。9~10年後には、財政運営が楽になると見通している。

議員 財政調整基金が減少している。赤信号の状態と思うがどうか。

総務部長 黄色信号の中で、事業の見直し、使用料・手数料等の見直しを行つて支出を抑えていく。

「ごみの減量と「燃やさない」ごみ処理への転換を

議員 笠岡市が分別、再資源化していないものも、分別・再資源化している自治体がある。分別品目を増やし、再資源化をする検討、努力をどの程度行ったのか。

市長 おむつの分別処理や生ごみの堆肥化処理などの導入を研究したが、技術的に最適な処理方法が確立されていないことや施設整備の問題等から導入には至っていない。

議員 固定価格買取制度の期限が迫る中で、今後どのように太陽光発電を普及していくのか。

市民生活部長 環境基本計画では、太陽光を中心として再生可能エネルギーの推進を掲げている。蓄電池に対して補助制度を設けている自治体もある。研究してみたい。



日本共産党

質問者

いぎ まもる
井木 守議員

所属議員

ひのつ みちこ
樋之津倫子議員



市民生活部長 上勝町は、町民をあげて目標を持って取り組んでいる。参考にしたい。井笠圏域の中でもいろいろ話していただきたい。

太陽光発電の安全な設置と運営、普及

議員 県は、太陽光発電の安全な導入を促進する条例を制定した。

市長 条例施行後の運用状況等を注視し、本市の現状と照らし合わせながら今後も検証を行いたい。

議員 徳島県上勝町は、ゼロ・ウェイスト宣言の町として「燃やさない」ごみ処理を目指している。

議員 新たな清掃工場の建設は、市民に大きな負担を強いることにもなる。分別・再資源化を徹底し、「ごみ処理の転換を図るべきである。

市民生活部長 環境基本計画では、太陽光を中心として再生可能エネルギーの推進を掲げている。蓄電池に対して補助制度を設けている自治体もある。研究してみたい。

過労死ライン超え！教員の働き方改革急げ！



公明党

質問者

さいとうかずのぶ
齋藤一信議員

所属議員

おおもとくにみつ
大本邦光議員



議員 岡山県教育委員会が発表した教員の勤務の現状データによると、月あたりの時間外業務は小学校が約64時間、中学校が約87時間であり、どの校種とも時間外業務が年々増加し、中学校は半数以上が過労死ラインを越える深刻な状況である。こういった慢性的な先生方の厳しい労働環境を早急に改善すべく、次年度へ向けて、大幅な単市予算付けをもつた教員業務アシスタント事業拡大を強く要望する。

教育長 教員が本来優先すべき教材研究や担任業務に時間をかけることができるようになつた同事業は、学校から好評を得ている。今後も、学校現場のニーズを正確に把握しながら仕事内容を見直すとともに、より一層の成果が上がる

ように配置していきたいと考えている。それが県の事業費であろうと、市の事業費であろうと、各学校へのサポートを公平とすることが、私たち教育委員会のきめ細やかな支援だと考えている。

議員 現に、過労死ラインを越える先生方が、笠岡市の先生方の中に今もつて何十人もいる。本当に国の制度も含めて教育行政がしっかりと手を突っ込んでいかないといけない、このまま看過できない状況である。教育長に先ほどの御答弁いただいた。より一層の真剣な取組みを切にお願いする。

議員 2020年度から小学校でプログラミング教育が必須化される背景、課題についてたずねる。
教育長 コンピュータを適切かつ効果的に活用する力を身に付けることが重要。文字入力の技能が課題と考えている。

議員 学校規模適正化修正に伴い、陶山小学校は令和5年度に城見小学校へ統合となる。保護者、地元への説明会スケジュールは。

教育長 10月から順次開催。令和10年度に金浦中学校に一体型小中貫校の設定を明記。また、認定こども園については、休園中の陶山幼稚園、金浦幼稚園を再編予定。令和6年に城見保育所を幼保連携認定こども園に移行予定。

本市の教育施策を問う



徳清会

質問者

もりおかさとこ
森岡聰子議員

所属議員

くりおじゅんぞう
栗尾順三議員
うまこしゅうせい
馬越裕正議員
にしなふみひで
仁科文秀議員

弱者対策を問う

市長 訪問医療、訪問介護、訪問リハビリの体制を整え取り組む。寝たきりゼロの役割を果たす。

議員 通所型サービスCについて。市長 虚弱になつた高齢者に対し、市町村が単価を設定した事業。

議員 笠岡市民病院の現状は。

議員 改革プランの進捗について、収支状況は平成30年度は約2億2500万円の赤字。資金不足も深刻。建て替えの状況は、府内で新病院整備基本構想検討プロジェクトと考えている。

市長 改革プランの進捗について、収支状況は平成30年度は約2億2500万円の赤字。資金不足も深刻。建て替えの状況は、府内で新病院整備基本構想検討プロジェクトと考えている。

議員 在宅医療の現状について。意見を取り入れ基本構想を作る。

市長 訪問医療、訪問介護、訪問リハビリの体制を整え取り組む。寝たきりゼロの役割を果たす。

議員 通所型サービスCについて。市長 虚弱になつた高齢者に対し、市町村が単価を設定した事業。



くらもとたかふみ
藏本隆文議員

現場に合った 防災計画を

議員 ①昨年の検証は行つたのか。
また、いつ公表するのか。②市の
対応の問題点は。③災害時の市・
地域の体制をどう考えるのか。

市長 ①市役所内部の災害業務に
関するもので、公表予定は無い。
②情報取得の周知不足、避難所運
営、災害対応業務の偏りなどが問
題であった。③ハード・ソフト対
策の両面から一層取り組まなけれ
ばと考える。地域では、市内全域に、
より進んだ体制を構築していくこ
とが必要と感じる。

ごみ袋の有料化は 行うべきではない

議員 ①平成28年度に否決したと

議員 今後に向けて、もっと検証
を行い、公表をしていただきたい。



きに、有料化によって解決される
ものではなく、まちづくり協議会
等から、減量化に向けたアイデア
を求めつつ、市民のやる気を減量
化に向けた学習や、行政と一緒に
なって減量化を再組織すべきと提
言したが、行つたのか。②有料化
している自治体の割合はいくらか。

市長 ①市民と直接対話して、現
状と課題を伝え、意見を伺つた。
②64・6%である。

議員 総合計画の基本理念のひと
つが協働である。提言の行動を行
わず、20%削減という目標に3%
届かなかつただけである。知恵を
出し合えばこの目標はすぐ達成す
るのではないか。超過した方は、
高い袋を買っていて、この制度は
機能している。むしろ定住促進に
繋がるではないか。

教育長 まずは、「多様性」を受
け入れることは必要だと考える。
笠岡市学校事務共同実施組織を立
ち上げて、事務の効率化を図り、
ICT機器の整備とICT支援員
の配置、市独自の教員業務アシス
タントの配置をしている。また、
市費で、不登校対策支援員を4名
配置している。今後は、小中一貫
教育を進めて、中1ギャップの解
消を目指し、「地域学」の充実に
より、笠岡の魅力を伝えていく。

教育長 まずは、「多様性」を受
け入れることは必要だと考える。
笠岡市学校事務共同実施組織を立
ち上げて、事務の効率化を図り、
ICT機器の整備とICT支援員
の配置、市独自の教員業務アシス
タントの配置をしている。また、
市費で、不登校対策支援員を4名
配置している。今後は、小中一貫
教育を進めて、中1ギャップの解
消を目指し、「地域学」の充実に
より、笠岡の魅力を伝えていく。



うまこしゅうせい
馬越裕正議員

高まる期待 小中一貫教育

議員 教育においては、「多様性」
がキーワードになってきていると
思う。教職員の働き方改革が重要
であるが、支援員制度の充実も含
めて、更には不登校対策も大切で
ある。小中一貫教育の推進をして
いる笠岡市の対策についてたずね
る。

教育部長 スポーツ施設が不足と
回答された方の90%以上が「室内
プールが必要」と回答している。
近隣自治体のほとんどが公立の室
内プールを有している。アンケー
ト結果を受け、室内プールの整備
を検討することも含めて、運動公
園のリニューアルに向けた整備計
画を作成している。



市民の期待 室内プール実現へ

議員 昨年、大きな話題となつた
運動公園の整備計画についてたず
ねる。市民の要望は、「プールを
どうするのか」だつたと思うが、
アンケート調査の結果と分析につ
いてたずねる。



教育長 以前は体験や活動ありきだったが、教員がキャリア教育の目標「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す」ということを意識して、保幼小中の連携教育を進める中で、より意図的・計画的に実施されるようになつた。本年度、小中一貫教育の研究発表を行う新吉中ブロックにおいては、発達段階に応じた育ちや学びをキャリア教育の視点でつないだ、12年間のキャリア教育全体計画を作成し取り組んでいる。

議員 通級指導教室を拠点とした地域のセンター的役割の充実についてはどうか。

教育長 小中学校における障がい特性の理解や自立活動の指導方向等を支援する取組みということで大変有効だと考えている。実施を前向きに検討したい。

議員 4年前と本年度のキャリア教育の取組み内容を比較してどのように進化したか。児童の発達段階に応じて新たに取り組んだことは何か。

キャリア教育の充実を求める



おおもとよしうき
大本益之議員

通級指導体制の充実を求める



議員 通級指導教室を中学校へ設置する計画はあるか。

教育長 自閉・情緒のニーズがどれくらいあるか把握し、ニーズがあれば岡山県教育委員会に強く要望したい。ひとつの中学校に設置する、または担当教員が通級指導を必要としている生徒の学校へ出向いていく、どちらが良いかも含めて前向きに検討する。

議員 幼保施設再編整備計画における集団規模の確保について、笠岡市の規模の基準をたずねる。

こども部長 「3歳以上が20人以上、3歳未満児も含めて全体で30人以上」を基準にして、認定こども園として再編整備するよう計画している。

議員 「入園児が増えたら園を残す」との市長発言についての基準に対する回答は、「幼稚園において各年齢それぞれ15人ずつ、計45人以上」であった。再編整備計画の基準と大きく変わっている。こんな理不尽なことを、市民は納得するのか。いつの間にか、再編整備計画の基準より大きく上がつていい。どういうことかたずねる。

議員 多くの市民・保護者の要望である園を残すためにはどうすればよいのか。再編整備計画を変えないのであれば、解決策は、市長を変えるしかないと思う。

幼保再編計画撤回へ



ふじい よしあき
藤井義明議員



こども部長 再編計画には、今後大きな社会の変動があつた場合には見直すと書かれている。児童が増えてきて施設が必要になるについた時には、最低でも45人は要るのではないかと判断した。

議員 多くの市民・保護者の声を聴くことなく、このままの計画で行くと理解すればよいのかたずねる。

こども部長 この計画を基本に着実に進めていきたいと考えてる。



おおやま もりひさ
大山盛久議員

有害鳥獣駆除対策を問う

議員 笠岡市における鳥獣駆除対策について、市全体の課題と対策についてたずねる。

産業部長 市全体の課題は、鳥獣被害対策の3本柱である野生鳥獣を近づけにくくする環境整備、侵入防止柵の設置、捕獲について、住民の皆様に十分に周知できていないことにあると考えている。イノシシは多産多死という生態を持つおり、環境整備や侵入防止柵の設置が不充分であると、淘汰されにくい状態をつくってしまい、捕獲を行っても根本的な被害軽減には繋がりにくいと考える。市民の皆様に、環境整備、侵入防止柵の設置、捕獲の3つの対策の周知をしっかりと行い、地域ぐるみで一体的に推進していきたいと考えている。

議員 笠岡市における鳥獣駆除対策について、市全体の課題と対策についてたずねる。

議員 この問題は他の議員から何度も質問されているが、現状を踏まえて、今後の方針性をたずねる。

市民病院の現状を問う



市長 現在の市民病院の概要について、内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科など13の診療科目がある。資金不足の状況は深刻であり、改善を求められている。今後は、寄附講座による総合内科診療の確保、近隣病院や開業医との地域連携の強化、病棟の再編、施設基準の見直し、委託料の見直しや購入物品の見直し、人件費の削減など、考えられることは全て行い、不退転の覚悟で経営改善を行う。

市長 笠岡駅を中心とする市街地の活性化が喫緊の課題となっている。再び賑わいのある町が創出できることをめざして、立地適正化計画において、医療・福祉・商業等都市機能を町の中心拠点等に誘導することにより、都市機能を位置づける方向で検討している。

議員 長い間笠岡市を代表する、割烹旅館三洋が消えたと側聞した。三洋は、市民が安心してお客さまを案内できる割烹旅館であつたと思う。笠岡市を支えた中心市街地の商店が、次々と消えてゆくこの状況を、このまま流れに任せられるのか、それとも再生を考えるのか。市長の考える中心市街地の姿をたずねる。

教育長 子どもたちは地域に住み続けることから、まちづくり協議会や公民館等が主催する地域行事等に参加し、地域の方々と交流することができるよう努めている。子ども園の行事に地域の皆さまの協力をいただき、積極的に交流の場を作っていく。小中一貫教育の中で地域学を位置づけ、地域で学び育てるシステムを前提にしてい

議員 笠岡市就学前教育・保育施設の再編、笠岡市立小中学校規模の適正によって学区が広くなり、地縁的なつながりが希薄化し、家族や地域との絆が弱まってくる。様々な経験から学ぶ、社会性や人間関係を作り上げるのが難しくなる。教育委員会として今後どのように対応するのかたずねる。

中心市街地の今後を問う



やまもと としあき
山本俊明議員

幼保再編・小中学校規模適正における地域との絆は



農地を守るために取り組みを問う



さかもときみあき
坂本公明議員



議員 耕作放棄地（主に水田）の実態と見通しについてたずねる。

議員 耕作放棄地の解消と防止についてたずねる。

市長 市の水田面積は803haで放棄地は113ha（14・1%）となつてある。相続による市外農地所有者の増加と高齢化や後継者不足により放棄地は増加傾向にある。

議員 耕作放棄者の指導と効果は。

市長 所有者に意識調査をしたところ、保全管理意識が高まつた。面積や進入道路が優良で耕作意欲のない農地は別途協議を行う。

議員 農業後継者の育成について。

市長 県の就農相談会において就農者の確保に努め、農地の確保や農業技術の指導に心がけている。

幼保の問題は わたしたちの問題



にしな ふみひで
仁科文秀議員

議員 私は、小さい子どものうちは地元地域で地域住民の愛情を受けて育つことが一番だと思っている。適正規模は、3歳以上で20名いれば十分だと考える。

横江幼稚園は「子どもたちは地域の宝」と考え、深い絆のもと、地域の人々と手を取り合つて歩んできた。ポスター700枚を作り、地域が一丸となって園の存続を求める計画である。このような園があることを知つていただきたい。

議員 最近は免許証返納を考えている人が増えている。高齢者は、市民税非課税の人であつてもなくとも移動手段には等しく不便を感じている。市民税非課税の項目をなくせないか。

市長 今年度、1乗車につき最大2枚まで利用できるようになり、7月末現在で利用数は前年度比1・8倍となっている。今後とも利便性が高く健康増進に寄与する制度に変えていく。

議員 住民税課税者にも一定の条件のもと利用いただけるよう、来年度の事業実施に向けて、前向きに検討してまいりたい。

市長 高齢者にやさしい福祉のまち笠岡として、ぜひ制度を進めていただきたい。

高齢者タクシーチケットを より便利に





おおもとくにみつ
大本邦光議員

共生社会への 環境整備は

議員 就労を目的に来日する外国人の場合、留学生とは異なり、日本語学校等で日本語や日本文化について学ぶといった、日本社会への適応のための準備期間を経験せずに、来日直後から仕事を中心とした生活を送る現状での、本市における国籍・地域別、在留資格別外国人数と推移をたずねる。

市長 平成31年は、外国人住民の数は477人で、中国168人、ベトナム149人、インドネシア56人。地域別では、アジア地域が455人、南米地域11人、北米地域9人。在留資格は、技能実習者278人、永住者79人、特定活動48人。外国人人口は、5年前と比較し、173人増加している。

議員 外国人の学習機会を広げる

ための教員養成、地域の教室を支援する取組みをたずねる。



公金の取り扱いを問う



ひがしかわさぶろう
東川三郎議員

笠岡市の小中学校における いじめの現状は

議員 笠岡東公民館で2年前、運営費83万8235円が紛失する事態があった。お金が無くなった時点で、すぐに警察に紛失届を出されなかつたのか。

議員 笠岡市の小中学校におけるいじめの現状をたずねる。

教育長 5月の連休明けに報告を受けた。なぜ警察へ紛失届を出されなかつたのかはわからない。

教育長 教育委員会への報告が遅れたことについては、認識が甘かつたとの説明を受けた。

議員 各年度の決算では通帳と決算書が合致しないと思うが、どのような決算がなされたのか。また、監査はどうしたのか。

議員 いじめの早期発見のために、アンケートや個人ノートを活用、またホームルームの時間にワークショップ方式でいじめ問題を取り上げてみるのはどうか。

教育長 定期的にアンケートを実施したり、面接を行つたりしている。いじめられている児童・生徒の立場に立ち、子どもの悩みを親身になって受け止め、子どもに寄り添うよう各学校に指導している。





おくの やすひさ
奥野泰久議員



尾坂ダムの耐震化を問う

議員 台風15号もそうであるが、自然災害の恐ろしさを見せつけられた。近い将来、高い確率で発生が予想される南海トラフ地震で、県の予想では最大震度6強とされているが、①笠岡市の被害想定はどの程度見込んでいるのか。②尾坂ダムの耐震化は十分か。

市長 ①国の地震調査委員会は、過去に大きな被害を発生させたレベル1の地震が今後30年以内に発生する確率は、70%程度と公表している。東海地震、東南海地震、南海地震が同時に発生した場合の三連動の地震、いわゆる南海トラフ巨大地震はレベル2とされ、千年あるいはそれよりも発生頻度は低いと考えられる。しかし、東日本大震災の発生を受け、最大クラスのレベル2について被害想定を

行った結果、笠岡市の想定では、最大震度6強、堤防の破壊等により被害が最大になる場合は、死者130人、建物全壊約2000棟、避難者1万8000人と想定している。

②尾坂ダムについては平成28年に調査し、レベル1地震動で検討を行い、安全性が確認されている。レベル1地震動とは建築基準法上震度5強を示す。南海トラフ巨大地震がダムの共用期間中に発生する確率は低く、レベル2地震動での安全性評価は行ってないが、万

一の場合下流に甚大な被害を及ぼすため、今年度ハザードマップを作成する。なお、県が平成25年2月に示す南海トラフ震度分布図での尾坂ダム地震地点の震度は5強とされ、レベル2での安全性の評価については県と相談したい。



ひのつ みちこ 横之津倫子議員

児童虐待防止法を生かした市政を

議員 児童相談所虐待相談件数が年々増えるなか、今年6月、児童虐待防止法が改正された。①市の子どもの貧困率を求めて久しいがどうなっているか。②市内児童虐待の実態についてたずねる。また、子どもの意見表明権の保証が必要。子どもが権利の主体者として、まず自分の権利について知ることが大切。教育現場で子ども自身に学ぶ機会を作つてほしい。

③子ども家庭総合支援拠点の設置、専門担当者の配置は万全か。

市長 ①本年2月に実施。現在集計分析依頼中。②幅広く捉えると、要保護児童登録数は142件。

③県のモデル事業を始める。専任職員を採用し、支援拠点づくりに努める。24時間対応の拠点直通の電話（63-5151）も設置し

て即対応できるようにしている。
話をすることを育てていきたい。



干拓の臭気対策を問う

議員 酪農家を訪問し、臭気改善の努力を間近に見てきた。しかし頭数が増える中、消臭剤、堆肥利用だけでは不十分である。有効な対策はないか。

市長 堆肥流通の販路拡大に取り組んでいる。

市議会かさおかの表紙を飾ってみませんか！

市議会かさおか



「旅の途中で」 石川 竜有 様

笠岡市議会では、笠岡市観光連盟主催のフォトコンテスト(年4回開催)に議長賞を設置していただいています。

議長賞に選ばれた作品は市議会かさおかの表紙として、**市内に全戸配布され、ホームページにも掲載**されます。

ポピーフォトコンテスト2019の議長賞は、石川 竜有様の作品「旅の途中で」となりました。この作品は来年5月号の表紙として、改めて掲載させていただきます。

次回のフォトコンテストは、道の駅笠岡バイファームの「コスモス」がテーマです。

みなさまぜひご応募ください。

12月定例会のお知らせ

11月29日（金）	初日（議案上程ほか）
12月9日（月）	2日目（個人質問）
10日（火）	3日目（個人質問）
11日（水）	4日目（個人質問）
12日（木）	5日目（議案質疑ほか）
13日（金）	総務文教委員会
16日（月）	環境福祉委員会
17日（火）	建設産業委員会
19日（木）	予算決算・議会運営委員会
20日（金）	最終日（議案採決ほか）

※この日程は**予定**です。
日程は11月27日の議会運営委員会で決定します。

応募にあたって

※議長賞の作品は、市議会かさおかの表紙に使用させていただきます。

※笠岡市観光連盟の使用基準の範囲で別に使用することができます。

※応募は電子メールで笠岡市観光連盟へお願いします。

(info@kasaoka-kankou.jp)



※応募の詳細は笠岡市観光連盟HPを御覧ください。
(http://www.kasaoka-kankou.jp/photo)

市議会かさおかでは紙面の都合上、情報を要約して掲載しています。ぜひHPをご覧ください。

※お詫びと訂正 令和元年8月1日発行 第161号P5の「常任委員会の所管事項の変更」について
総務文教委員会の所管事項の改正した後・改正する前の文言に誤りがありました。
(誤)他の委員会の所管する事項 (正)他の委員会の所管に属しない事項 お詫びして訂正いたします。



編集の窓

NHKスペシャル「子どもの“声なき声”」を観て驚いた。不登校約11万人に加え、「登校しても教室に入れない」、「教室で苦痛に耐えているだけ」という“隠れ不登校”的中学生が約33万人もいると報じていた。

先日、地元の中学生に「どう、学校は楽しい?」と聞くと、満面の笑みで「うん、楽しいよ」と答えてくれた。

笠岡市幼保再編、学校規模適正化の問題はあるが、笠岡市の子どもたちがしっかり学校の中で育っている大丈夫な姿を市民の皆様に伝えることが出来るよう、議会も応援してまいりたい。

おねがい

公職選挙法により、選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附等を行うことは禁止されています。

このため、市議会議員は選挙区内にお歳暮を送ったり地域の行事に差入れや祝儀を出すことはできません。年賀状を出すこと等も禁止されていますので、ご理解とご協力をお願いします。



◎広報公聴委員会
藤井義明 原田大本邦光
○委員長 (◎)東川三郎 ○齊藤一信
○副委員長 楠之津倫子 妹尾博之 馬越裕正
FAX 69211891 TEL 69221669

令和元年11月1日発行

第162号

発行 笠岡市議会